

発行所 東京自治体労働組合総連合 〒170-0005 豊島区南大塚2-33-10東京労働会館4階 TEL 03-5940-7951 FAX 03-5940-7957 発行人 矢吹 義則

定価1部10円 (ただし組合員の購読料は組合費に含まれています。-1人に1部配布) 本紙は再生紙(古紙75%以上)を使用しています

とっまよう 自治体の仲間

2023.9.18 VOL.400

http://www.tokyo-jichiroren.org/ E-mail honbu@tokyo-jichiroren.org

自治労連 第45回定期大会

4年ぶりの現地開催



8月27日(日)〜29日(火)、山口県宇部市において、自治労連第45回定期大会が4年ぶりに現地開催されました。3日間の旺盛な討論では組織拡大運動や職場要求実現のとりくみ、また改憲反対、憲法を守りいかすとりくみやジェンダー平等などを

委員長挨拶 桜井眞吾中央執行委員長 公営化など、様々なとりくみを前進させて、魅力ある職場を創出する。公務員への応募が減少し続けるうえに、多岐にわたる住民の手に公共を取

雇用正規化、公的職場の再公営化など、様々なとりくみを前進させて、魅力ある職場を創出する。公務員への応募が減少し続けるうえに、多岐にわたる住民の手に公共を取

新役員選挙の結果、江東区職労の山本民子さんが新中央執行委員となりました。副中央執行委員の高柳京子さんは今大会で退任されました。お疲れ様でした。

東京からの発言

支部結成で、処遇改善を

公務公共一般・斎藤代議員



東京・府中市は、会計年度任用職員への移行時にそれ以前の「嘱託職員」は「月額給」に、「臨時職員」は「日額・時給」とし、夏季休暇や慶弔休暇は、嘱託職員は有給。臨時職員は制度

多様な担い手で 組合要求を豊かにしていく

世田谷区職労 永野代議員



世田谷区が「個人の尊厳を尊重し、多様性を認めあひ、自分らしく暮らせる地域社会を築いていく」と

保健所の恒常的な人員体制の強化が危機管理には重要

江東区職労 山本代議員



保健師は、終わりの見えないコロナとの闘いでは、「辞めるか、死ぬか」を突き付けられ、同僚が去って

職場の声と自治研活動を 両輪として

東京自治労連 安田代議員



公衆衛生部会は、昨年の保健所実態アンケートに続き、職場の声を「私の『ひとこと』カード」で集めて

9月4日、辺野古基地建設をめぐる、地盤改良の設計変更を不承認とした沖縄県

この判決は、二重三重に不当。第一に、個人の権利救済のための行政不服審査制度を、国の機関である沖縄防衛局が使い、国交相が県に是正指示▼これは国が、国を救済する手法を是認する。国と自治体は対等とする地方自治の本旨を蔑ろにし、二〇〇〇年の地方分権一括法で国と地方自治体の関係を「上下・主従」から「対等・平等」に変えたにもかかわらず、国が力づくで自治体を従わせることを容認する不当なもの▼第二に、県の「公有水面埋立法」に照らし地盤調査が行われていない地点がある等を理由としたことなど不承認の根拠を示したにも拘らず、この点は何ら審査されなかつた▼第三に、沖縄県民は、二度の県知事選と住民投票で、三度も辺野古基地建設NO!の民意を示してきたことを一顧だにせず、国の姿勢を容認し、三権分立に対する懸念を国民が抱くよううな対応を最高裁自らが行った司法の自滅行為といわざるを得ない不当なものだ。

まみんの一瞥

わたなべ 幸



第22回労働安全衛生活動交流集会



9月10日(日)、東京都農業会館で、第22回労働安全衛生活動交流集会を開催しました。参加者は37人。記念講演は、愛労連事務局長の佐賀達也さんを講師に、「安全衛生活動の活性で職員のいのちと健康を守る」と題し、講演されました。その後、基調報告と二つの分科会に分かれて各テーマに沿った討論・交流を深めました。

「いのちより大切なものはない」

記念講演

講演の始めに、啓発のポスターを紹介し、「壊れるまで働かせるのか、職員のいのち、健康を守るのには当局の責任だ」「公務員も人間です。過労死ラインを超える働かせ方NO」という文言に込めた思いを語りました。11月の過労死等防止啓発月間では、厚労省主催のシンポジウムの内容につ

いて紹介され、これら過労死や死亡事故は、労組運動の歴史の中でも重要な闘いであると述べました。以下、安全衛生活動と労働組合の要求運動は運動していることを報告しました。

●長時間労働による健康被害をなくすために、労働安全衛生法や過労死等防止対策法などに基づく安全衛生活動をすすめること。安全衛生委員会を開催し、たとえ災害時であっても職員に健康被害を生じさせることのないよう対策の検討を行うこと。労使協議を行い、時間外労働の根拠を明確にすること(災害時対応としての労基法33条1項適用が「公務のために臨時の必要がある場合」として労基法33条3項かなど)他。

●36協定の締結にあたっては、長時間労働は正は労使で努力すること。延長理由はもろろん、その後の改善策の効果についても実効性のある対策を求めること。●労働力の高齢化(特に中高年齢の女性労働者)による高年齢労働者の労災が急増中。60才以上の女性の転倒による労災発生率は20代の約15倍。自治体では定年年齢引き上げが始まり、特徴的な取り組みが報告されました。東京自治労連では安全衛生活動を重視し、健康で働き続けられる自治体職場の実現をめざすため、現在取り組んでいる自治労連安全衛生活動アンケートを集約して推進委員会を開催し、課題や対応、要求の整理を進めていきます。労働安全衛生活動は、日頃からの積み重ねが労働者のいのちを守ることに

は重要です。障がい者雇用促進法による障がい者有する仲間を迎え入れられる環境の整備も、安全衛生委員会の中で取り組むこと。

●会計年度任用職員の労働安全衛生活動への参加促進に取り組み。また、自治労連から「自治体に働く職員のいのちと健康を守るための政策提言(案)一自治体職場から『過労死と健康被害』を根絶するために」が紹介されました。

基調報告

水村書記次長から、働くものの労働と健康をめぐる状況報告と2023年度の具体的な取り組みが報告されました。東京自治労連では安全衛生活動を重視し、健康で働き続けられる自治体職場の実現をめざすため、現在取り組んでいる自治労連安全衛生活動アンケートを集約して推進委員会を開催し、課題や対応、要求の整理を進めていきます。労働安全衛生活動は、日頃からの積み重ねが労働者のいのちを守ることに

第1分科会

安全衛生委員会の役割は

役割は

8単組・局支部から13人の参加でした。コロナ禍の困難な中でも、各単組・局支部の安全衛生委員会は開催され、超勤の実態や労災や事故の発生状況等が報告されていきました。

委員会は、労安法に基づき、労使が対等に意見を交わす場です。労使交渉とは違い、職員が安全、安心に

第2分科会

ハラスメントに

困まれた現状

10単組・局支部、16人の参加でした。パワハラで病休者が続く職場や、職員間でのパワハラなど、働きづらい職場の報告が重なりました。労働安全衛生委員会で高ストレス職場の調査結果に

実現したこと。毎年行う講演会は、労安委員だけでなく管理職や係長職も参加する「研修」として行っているなど、それぞれが持ち帰り、実践につながる報告もありました。また、ストレスチェックの活用や、ICTへの労働安全衛生からのアプローチなどの課題も出されました。

最後に、情報交換の大切さが明らかになり、東京自治労連の労安推進委員会を再開し、取り組みを進めていくことを確認しました。

第22回自治労連機関紙コンクール

足立区職労「歯車」優秀賞



おめでとうございます!

新規加入キャンペーンスタート!

対象期間: 2023. 10. 1~2024. 1. 31

新規・増車ご契約いただいた契約者様に抽選で素敵な賞品が当たる

団体割引 17.5%

2023年10月1日から2024年9月30日の1年間の割引率です。毎年見直しされます。

1等: 栃木のイチゴ
2等: 栃木のクッキー
参加賞: おが野たむごぼう

自動車共済関東

TEL03-5319-7353 FAX03-5319-7852

http://www.kyosai.group.jp/car_top/

今すぐ組合事務所へ

見積はこちらから

組合員のための無料法律相談

日時 10月19日(木)13時~
場所 八王子合同事務所
担当 白神 優理子 弁護士

次回の先生はこちら!

東京自治労連の組合員はどなたでも無料(初回のみ)。東京自治労連の顧問弁護団の弁護士に相談できます。ご希望の方は下記までご連絡ください。

東京自治労連・法律相談係 Tel03-5940-7951